

令和5年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立 与野西北小学校)

学校番号 083

【様式】

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | みんなでつくる みんなの与野西北小学校 ～「輝く瞳に夢いっぱい」な学校を子ども・家庭・地域と協働・連携してつくります～ |
|--------|--|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学びの自律化と個別最適化及び探究化の実現 2 誰一人取り残さないきめ細やかな教育活動の推進と安心・安全な教育環境の整備 3 家庭、地域との強い絆で結ばれた「みんなでつくる みんなの与野西北小学校づくり」の推進 4 教職員の資質向上と働き方改革の推進 |
|------|---|

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| | | |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上) |
| | B | 概ね達成 (6割以上) |
| | C | 変化の兆し (4割以上) |
| | D | 不十分 (4割未満) |

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | 学 校 運 営 協 議 会 による 評 価 | | | |
|-------------|---|---|--|---|---|-----|--|---|
| 年 度 目 標 | | | | | 年 度 評 価 | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | |
| 1 | <p>(現状)</p> <p>○さいたま市学習状況調査では、国語、算数ともに市平均と概ね同水準である。</p> <p>○タブレット端末の使用状況について、市の平均と同水準である。</p> <p>(課題)</p> <p>○デジタルの優位性について理解を深め、一層の効果的活用を推進していく必要がある。</p> <p>○全国学力・学習状況調査結果から、話の中心を捉えることなど、「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。</p> <p>○本年度より3か年計画で取り組む学校課題研究について、本校児童に身に付けさせたい力等について議論を重ね、児童の実態に即した学校課題研究を推進する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・情報端末及び学校図書館の利活用を通じた学びの自律化、個別最適化、探究化の実現 ・児童と教職員の実態を踏まえた学校課題研究及び「与野西北小 STEAMS TIME」の推進 | <ol style="list-style-type: none"> ①学校課題研究の取組とも関連させてタブレット端末を積極的に活用し、デジタルの優位性を生かした授業を展開する。 ②学校図書館の利活用を推進するため、年間を通して読書活動を工夫する。 | <ol style="list-style-type: none"> ①ICT 関連に係る学校評価の児童と保護者の肯定的回答及び12月の児童の端末活用状況が昨年度を上回ったか。 ②学校評価における、授業と読書活動に係る肯定的回答が前年度を上回ったか。 | <ol style="list-style-type: none"> ①学校評価の ICT に係る肯定的回答は、児童 83%・保護者 89%となり、昨年度を下回る結果となった。端末使用状況に関する児童アンケートでは週3回以上が約70%で、昨年度の本校及び本年度のさいたま市平均を上回っている。 ②学校評価の学習指導に係る肯定的評価は児童96%・保護者92%、読書活動に係る肯定的評価は児童72%、保護者94%であった。学習指導に係る保護者の肯定的評価は下がり、読書活動に係る保護者の肯定的評価は上がったが、その他は昨年度と同水準であった。 | B | <ol style="list-style-type: none"> ①ICT 機器については、効果的な活用方法を模索していく必要がある。現在、Canva(キャンバ)や Padlet(パドレット)等のソフト活用について校内で実践研究に取り組んでいるところであり、今後も引き続き、有効活用に向けて研究を重ねる。 ②読書活動の一層の推進を図る。また、学習指導に関しては、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進」を研修テーマとして学校課題研究を推進する。 | <p>○先生方のアイディア溢れた教材を目にする。子どもたちは楽しく学んでいると思われる。</p> <p>○ICT 関連について、ソフト面は充実しているの、ぜひ有効活用できることを期待する。</p> <p>○GIGA スクール構想により子どもたちの学校での学びの姿が変わってきた。益々の有効活用を期待する。</p> <p>○学校図書館利活用は個人差があると思うが、読書を楽しみにしている児童が増えているように感じる。</p> <p>○学びのポイント「じしゃく」を意識した授業が見られた。来年度の成果に期待する。</p> <p>○重点目標達成のために、情報端末活用や読書活動を推進していることは評価できる。学習指導の質を高める研修を継続している姿勢は必ずプラスに働くと思われる。</p> <p>○今年度の達成状況を具体的に分析し、次年度の課題を明確にして改善策に繋げている。</p> <p>○学校の取組は児童に伝わり、学びの自立的性が感じられる。</p> |
| 2 | <p>(成果)</p> <p>○市学習状況調査の質問「学校に行くのが楽しい」について肯定的回答の割合が、市平均と同水準である。</p> <p>○昨年度、積極的な生徒指導や人権教育の充実を図るための教育活動を展開してきたが、いじめの根絶は達成できていない。</p> <p>○昨年度、学校施設の瑕疵による事故0件。</p> <p>(課題)</p> <p>○調査において肯定的回答割合の数値のみを見るのではなく、否定的な思いを抱いている児童に対する個別支援を充実させる。</p> <p>○地域の宝である子どもたちがいじめの根絶に向け、教職員、保護者、地域が三者一体となって、根気強く協働する。</p> <p>○安心安全な環境づくりに向けた取組についての凡事徹底を図る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりへのきめ細やかな学習指導・教育支援・教育相談に向けた校内体制の充実 ・児童の安心安全な教育環境の構築に向けた組織的取組の一層の推進 | <ol style="list-style-type: none"> ①個々の児童の実情に即した指導等を行う支援教室を設置し、学習指導及び教育相談等における、きめ細やかな教育活動を展開する。 ②アンケート及び面談等の結果から個々の実態を把握し、生徒指導、教育相談、特別支援教育の分掌を中心として、関係機関との連携も視野に入れながら組織的に対応する。 | <ol style="list-style-type: none"> ①支援教室について、活用計画を立案し計画に基づいて運用することができたか。 ②学校評価における、いじめ・人権教育に係る肯定的評価が昨年度を上回ったか。 | <ol style="list-style-type: none"> ①現在、本校では、登校することができない児童や教室に入ることができない児童の学校での居場所(Sola ルーム)づくりを進めており、支援教室として活用予定であったスペースを当該教室として活用している。 ②学校評価における、いじめ・人権教育に係る肯定的評価は児童94%・保護者92%となり、昨年度を僅かに下回っている。 | B | <ol style="list-style-type: none"> ①支援教室については、現在 Sola ルームとして活用しているスペースを、支援教室の機能も併せもつスペースとして有効活用できるように検討していきたい。 ②いじめ撲滅や早期発見・早期対応に向け、保護者や関係機関等との連携をより密接にするとともに、職員の協働体制をより強固なものとする。 | <p>○困っている友達を手助けする等、思いやりのある子どもに成長していると感じる。</p> <p>○登校班がなくなることにより登下校の車や自転車での送迎が増えるのではと地域では心配している。</p> <p>○Sola ルームは不登校の減少に期待できるうえ、その機能向上について検討している点に注目したい。</p> <p>○先生と児童との関係が密になり、その事が安心・安全な教育環境へと発展していると思う。</p> <p>○学校運営協議会に子どもたちが如何に関われるかは、今後の課題であると共に、課題解決の最善の方法であると考えらる。</p> |
| 3 | <p>(現状)</p> <p>○昨年度は、八王子中学校との合同学校運営協議会で児童生徒に育みたい力について熟識し、「輝くひとみの子どもたち」の具現化に向けて熟識を行った。</p> <p>○市学習状況調査における「地域とのかかわり」について、肯定的評価が市平均と比較し低い傾向にある。</p> <p>(課題)</p> <p>○地域の未来を担う児童のために、学校課題の解決に資する活動の一層の推進を図る。</p> <p>○児童の地域理解を深めるとともに、地域の未来を担う子どもたちの思いや願いが伝わる学校運営協議会について研究を進める。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの一層の周知と学校課題解決に向けた協働活動の実施 ・一人ひとりの Well-being を大切にす学校づくりに向けた児童参画型コミュニティ・スクールの研究・実践 | <ol style="list-style-type: none"> ①コミュニティ・スクールについて、学校だより、学校 HP 等を通して保護者、地域への一層の周知を図り、協働体制の基盤づくりに努める。 ②学校運営協議会で取り上げる学校課題を精査して情報を共有する。 | <ol style="list-style-type: none"> ①学校評価者における、地域・コミュニティ・スクール関連の質問について、保護者及び学校関係者の肯定的回答が90%以上となったか。 ②学校課題に係る協働活動を実施することができたか。 | <ol style="list-style-type: none"> ①学校評価における、保健・安全関連の質問について肯定的評価が90%を上回ったか。 ②危険箇所等を発見した際、確実に即日対応することができたか。 | B | <ol style="list-style-type: none"> ①②地域・家庭・学校の三者が一体となって実効性のある協働活動が展開できるように、情報提供と熟識の充実を図る。 | <p>○地域の人は輝くひとみの子どもたちにもっと接して欲しい。そのような場を地域が作っていかなくてはならないと考える。</p> <p>○縦割り活動への地域参加を実現してほしい。</p> <p>○家庭や地域、学校が強い絆で結ばれ積極的に協働することが大切である。</p> <p>○みんなでつくるみんなの与野西北小学校が児童や保護者に浸透してきたと思う。</p> <p>○家庭の養育者の理解が強く求められる。</p> <p>○熟識に参加した児童の態度が立派であった。</p> <p>○後援会は「与野西北小は地域の学校として誇りです」との思い。共に頑張りたい。</p> <p>○地域の方々熱い思いをさらに広げ、多くの人が自分事として関わられるようにリーダーシップを発揮していただきたい。</p> <p>○コミュニティ・スクールの協働活動がさらに発展し、学校・家庭・地域が強い絆で結ばれるように今後も推進したい。</p> |
| 4 | <p>(現状)</p> <p>○超在校時間は減少傾向にあり、時間的視点から見た働き方改革は進んでいる。</p> <p>○ICT 機器の積極的活用は進んでいるが、「ICT や情報・教育データ活用」を自身の課題と捉えている教職員が多い。</p> <p>(課題)</p> <p>○具体的な授業場面を想定した ICT の効果的活用について理解を深める必要がある。</p> <p>○働き方改革及び教職員がやりがいを感じる職場づくりを一層推進する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器の有効活用に係る教職員の資質向上と、職務にやりがいを感じる職場環境の構築 | <ol style="list-style-type: none"> ①アクティブ・ラーニング型授業の充実に向け、ICT 機器利活用に係る研修会等の受講を奨励するとともに、エンジェリストから積極的に情報を発信する機会を設ける。 ②人事評価面談や校務分掌主任等との面談において、教育活動に係る成果と課題及び業務改善について話し合い、明確な目標をもって職務にあたることのできるようにする。 | <ol style="list-style-type: none"> ①教職員アンケートにおける、ICT 等の利活用を通じた授業改善に係る質問について肯定的回答が、90%を上回ったか。 ②職務にやりがいや満足感を感じている教職員の割合が、前年度を上回ったか。 | <ol style="list-style-type: none"> ①ICT に係る教職員の肯定的評価は100%となり90%を上回った。 ②2学期末に主任面談を実施し、学年や分掌上の課題と成果等について話し合った。明確な目的をもって業務を遂行することができるように、今後の活動方針等についても確認した。また、学習指導等で学校が抱える課題を考えて公開授業や研修を実施する等、前向きに職務に取り組む姿も見受けられている。 | B | <ol style="list-style-type: none"> ①更なる職員の資質向上及び働き方改革の推進に向け、SSSP(さいたま市スマートスクールプロジェクト)を通して、3つのコンセプトである「学び方」「教え方」「働き方」の改革に努める。 ②職員一人ひとりと面談の機会を設け、本年度の業務を振り返るとともに、現在の運営課題等について話し合い、次年度の分掌業務に繋げる。また、協働体制のさらなる強化、職員のやりがい向上に努める。 | <p>○働き方改革を進め、心身ともにゆとりをもって子どもたちと向き合っていたいただきたい。</p> <p>○スクールダッシュボード等の活用が軌道に乗り、学び方・教え方・働き方の改革が進むことを願う。</p> <p>○先生方が自己啓発に取り組んでいるとのこと。さらに高みを目指して欲しい。</p> <p>○先生方の努力や学びを進めることと働き方改革は相反する課題であるが、コミュニケーションをとりながら推進していただきたい。</p> |

